

福山市次世代エネルギーパーク基本計画 〔概要版〕



きて、みて、ふれて、たのしく学べる え～まち福山
ものづくりのまちが伝える次世代エネルギーパーク

2014年（平成26年）3月

福山市

福山市次世代エネルギーパークとは…

本市は、年間を通じて降雨が少なく日射量に恵まれており、住宅や公共施設等に太陽光発電の導入が進んでいます。

また、箕沖地区は、環境学習の拠点施設である福山市リサイクルプラザや、中国地方初となる3メガワット級のメガソーラー（大規模太陽光発電所）をはじめ、ごみ固形燃料工場とそれを利用した発電所や、民間の環境関連施設等の集積が進んでいます。

本市は、この箕沖地区を中心に、市内の環境関連施設等で再生可能エネルギー等に見て触れることで、地球環境と調和した次世代エネルギーの在り方について理解の増進を図るものとして、2012年（平成24年）1月に、「次世代エネルギーパーク」の認定を受けました。

【対象となる範囲】 福山市全域

【構成する要素】

- ・ 中核施設 … 福山市リサイクルプラザ
- ・ サテライト施設 … 再生可能エネルギーや省エネルギーの取組について、見て、触れて、理解を深めることのできる市内の民間施設（工場・事務所等）、その他啓発施設
- ・ リーディングエリア … サテライト施設が数多く集積している地区、またはエネルギー分野で先進的な取組を実践している企業や施設等が存在する地区（箕沖地区、常石地区など）

きて、みて、ふれて、たのしく学べる え～まち福山 ものづくりのまちが伝える次世代エネルギーパーク

福山市次世代エネルギーパーク基本計画

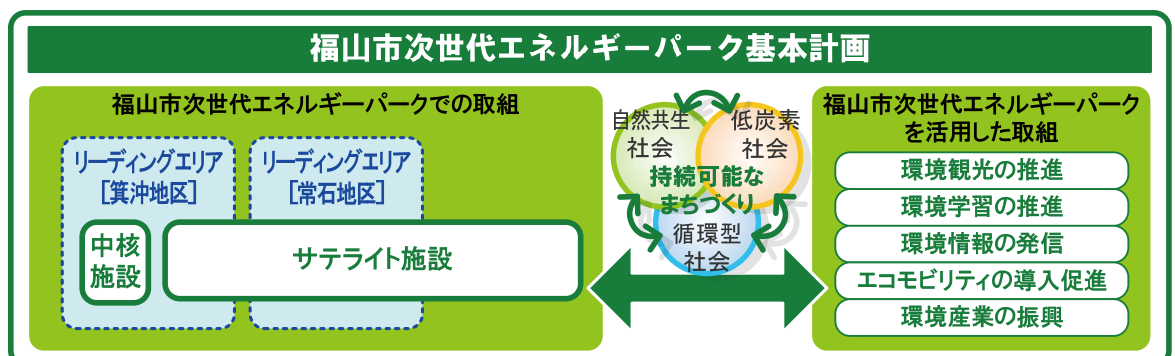
本計画は、ものづくりのまちから見えてくる低炭素、資源循環及び自然共生に関する様々な取組や活動及び再生可能エネルギーや省エネルギー等の新たなエネルギーの生産・利用について、「見て触れて理解できる次世代エネルギーパーク」を整備するとともに、広く情報発信し、環境にやさしいものづくりのまちを実現していくための具体的方針及び施策を示すものです。

さらに、市内外からより多くの人々がここを訪れ、再生可能エネルギーを中心とするエネルギー問題をはじめ、低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会に基づく持続可能な社会について理解を深めるとともに、再生可能エネルギーの普及啓発や環境・観光関連産業の振興等を通じて地域活性化及び「クリエイティブなばらのまち福山」をめざす本市の都市ブランド力の向上に資するよう、エネルギーパークの活用施策についてもあわせて示します。

【対象範囲】 福山市次世代エネルギーパーク及びそれを構成する各施設及びリーディングエリア

【計画期間】 2014年度（平成26年度）から2018年度（平成30年度）まで

【基本理念】 きて、みて、ふれて、たのしく学べる え～まち福山
ものづくりのまちが伝える次世代エネルギーパーク



再生可能エネルギーの導入方針

本市では、2011年(平成23年)3月に「福山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定し、温室効果ガス排出量の削減目標値として、2020年度(平成32年度)(中期目標年)に2007年度(平成19年度)比で40%の削減をめざしています。

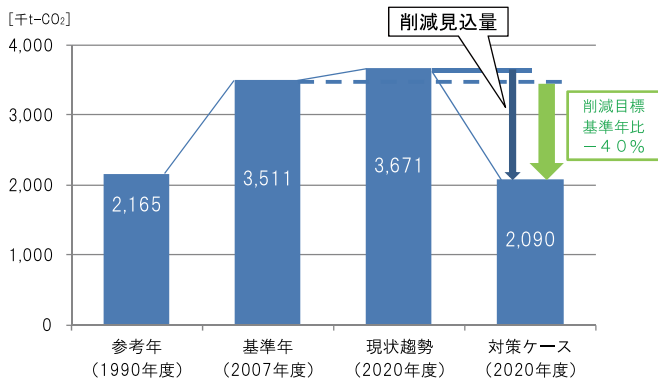
同計画に基づく施策の効果のうち、再生可能エネルギー等の普及促進による削減見込量の割合は7.8%です。

【 温室効果ガス削減目標(基準年:2007年度) 】

短期目標(2012年度): 7%削減(1990年度比50%増加)

中期目標(2020年度): 40%削減(1990年度比3%削減)

長期目標(2050年度): 80%削減(1990年度比68%削減)



▲ 温室効果ガス排出量の将来推計及び削減目標

本市におけるエネルギーの消費傾向と、再生可能エネルギーの利用可能状況から、再生可能エネルギー等の導入方針は次のとおりとします。

方針1 太陽光・太陽熱エネルギーは、エネルギー消費の大きい市街地や住宅地の中でも供給可能な地産地消できるエネルギーです。よって、住宅や工場・事業所への太陽光発電・太陽熱利用設備の設置を促進します。【太陽光・太陽熱】

方針2 大規模風力発電施設の設置を想定した風力エネルギーは、市内の山間部を中心に利用可能量が算出されます。ただし、太陽光等と比べ、周辺整備等の課題があり現実的には困難であると想定されます。よって、普及啓発等を主目的としたマイクロ風力発電の導入を検討します。【風力】

方針3 市内に一級河川がありますが賦存量は多くないため、農業用水路等を利用したマイクロ水力発電を中心に、中核施設やサテライト施設を活用し、水力発電の普及啓発を行います。【水力】

方針4 廃棄物系バイオマスは、一般廃棄物を中心に廃棄物発電によるエネルギー利用を図ります。また、未利用系バイオマスについても活用を検討します。【バイオマス】

再生可能エネルギーとは？

再生可能エネルギーとは、「エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律(エネルギー供給構造高度化法)」で「エネルギー源として持続的に利用することができると認められるもの」として、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスが規定されています。

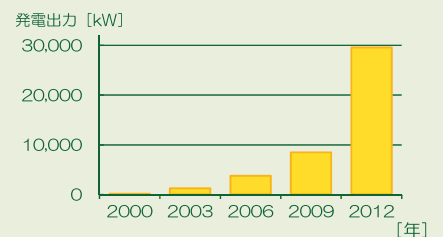
再生可能エネルギーは、資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギーです。



福山市の再生可能エネルギーの導入状況

本市では、中国地方初となる3メガワット級のメガソーラー(大規模太陽光発電所)や水力発電所、ごみ固形燃料を利用した発電所も稼働しています。

また、福山市太陽エネルギー導入促進事業の推進により、住宅用太陽光発電システムの設置が進んでいます。



▲福山市住宅用太陽光発電システム設置費補助に係る発電量(累計)の推移

エネルギーの地産地消によるスマートなまちづくりに向けて

本市では、ごみ固形燃料を利用したバイオマス発電や、大規模太陽光発電、住宅用太陽光発電など、再生可能エネルギーの導入が進んでおり、今後もさらに普及していくものと期待されます。

今後は、地域資源によってまかなわれるエネルギーを地域内でうまく有効活用する地産地消の仕組みを進めていくことが重要です。本市では、今後も、再生可能エネルギーの普及・導入促進を図り、エネルギーの地産地消を進めることで、環境にやさしいスマートなまちづくりを進めていきます。

福山市次世代エネルギーパークでは、再生可能エネルギーの導入やエネルギーの地産地消の促進による持続可能でスマートなまちづくりを実現していくための情報発信や、普及・啓発を行います。





エネルギー・人・地域を「つなぎ・はぐくむ」ものづくりのまち福山



福山市次世代エネルギーパーク基本計画は、基本方針として「エネルギー・人・地域を『つなぎ・はぐくむ』ものづくりのまち福山」を掲げ、次の5つの方針に基づき施策を展開していきます。

【方針1】 エネルギーと人をつなぐ

「エネルギーと人」をつなぐため、見て触れてエネルギーを体感できるとともに、再生可能エネルギーの活用策等を広く紹介する場として整備し、再生可能エネルギーの利用機会の拡大と普及を促進します。

- エネルギーの「見える化」に取り組みます
- エネルギーの「見せる化」に取り組みます

【方針2】 エネルギーと地域をつなぐ

「エネルギーと地域」をつなぐため、低炭素で環境にやさしい乗り物やエネルギーの面的な利用・管理の導入について、普及啓発を行います。

- エコモビリティの導入促進に取り組みます
- エネルギーの地産地消に向けて普及啓発に取り組みます

【方針3】 人と地域をつなぐ

「人と地域」をつなぐため、地域に潜在する各種資源（エネルギー、産業、観光、自然等）を有機的に結び「自然と人のハーモニー みんなで創る え〜まち福山」の新たな魅力づくりを促進します。

- サテライト施設の拡充・新たな環境観光コンテンツの開発に取り組みます
- 環境観光の受入体制の整備に取り組みます
- 環境観光の推進に取り組みます

【方針4】 エネルギーをはぐくむ

「エネルギー」をはぐくむため、地域資源を活かした再生可能エネルギー等の利用を促進します。

- 再生可能エネルギーの普及啓発に取り組みます
- 再生可能エネルギーの導入促進に取り組みます

【方針5】 人と地域をはぐくむ

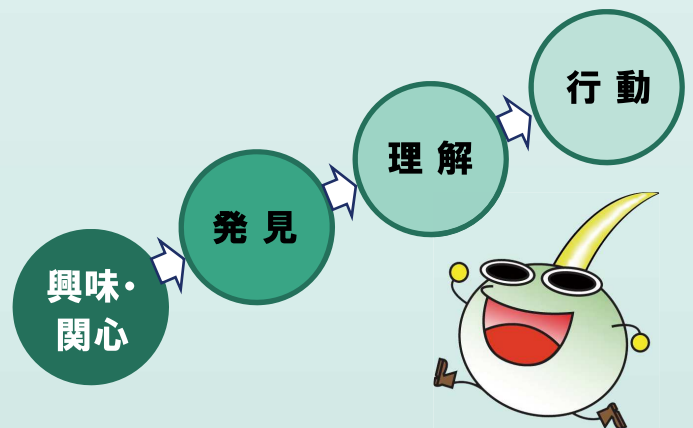
「人と地域」をはぐくむため、環境学習を深める仕組みの整備や指導者の養成を行うとともに、環境を通じた市民交流を促進します。

- 地域が一体となり、環境学習を推進します
- 環境学習ガイドの育成に取り組みます
- 環境を通じた市民交流の促進・支援に取り組みます

福山市次世代エネルギーパークを構成する施設やエリアは環境への理解を深めていける場として整備していきます。

福山市次世代エネルギーパークは、中核施設である「福山市リサイクルプラザ」と、市内に点在する民間施設（工場・事務所等）及びその他啓発施設からなるサテライト施設、それらが集積するリーディングエリアから構成されるものです。

福山市次世代エネルギーパークでは、これら施設及びエリアを一体的にとらえ、市内外からの来訪者が一定のテーマやストーリーのもとに各施設を見学・体験する中で、環境に対し「興味・関心」→「発見」→「理解」→「行動」へと理解を深めていけるよう整備します。



中核施設

（福山市リサイクルプラザ）

福山市リサイクルプラザは、これまで、本市の環境の啓発・情報発信拠点として、「循環型社会の構築」を実践するための学習に重点をおいた活動が進められてきました。

本市が「次世代エネルギーパーク」としての認定を受けたことを機に、今後は「低炭素社会の構築」や「自然共生社会の構築」へと啓発の幅を広げ、総合的な環境学習拠点として改修を進めるとともに、福山市次世代エネルギーパークの窓口機能を担う場としてサービスの充実を図っていきます。



福山の環境を守る
「環境特捜セイバーレンジャー」



▲ 中核施設の学習ゾーニング(改修イメージ)(案)

サテライト施設

サテライト施設として登録された施設は、来訪者が企業活動や社会的取組の中で実際に行われている環境配慮活動に触れることで、環境問題をより現実的なものとして受け止め、理解や興味を深める場としての整備等を官民が連携して進めていきます。

また、来訪者の安全面での整備や、見学プログラムの設定など、施設を「見せる」ための取組を進めていきます。



福山リサイクル発電所
福山リサイクル発電所

リーディングエリア

リーディングエリアは、サテライト施設が数多く集積している地区等であり、今後、福山市次世代エネルギーパークへの来訪者が増えることで、多数のバスや車両がこの場に集まり、歩行者も道路を往来するようになると予想されます。

よって、来訪者の安全性、快適性を重視したハード及びソフト両面からの整備を進めていきます。



福山市次世代エネルギーパークを活用し、 福山市ならではの環境学習及び環境観光を提供します。

福山市次世代エネルギーパークは、一施設で環境啓発を進めるのではなく、複数の施設やリーディングエリアで行われている取組を有機的に結びつけることで、他にはない、福山市ならではの環境学習及び環境観光を提供し、楽しみながら環境への理解が深まる場として活用します。また同時に、エコモビリティの導入を促進するとともにエネルギーパークにおける様々な取組等の環境情報を発信することで、環境にやさしい「クリエイティブなぼらのまち福山」をめざす本市の都市ブランド力を向上させ、環境産業の振興につながることも期待しています。

その一環として、福山市次世代エネルギーパークを活用し、①環境にやさしいエコモビリティの導入、②環境観光受入体制の整備、③環境観光のコース化、④学習サポートサービスの充実を進めるとともに、⑤情報発信により来訪者を増加させることで、取組の効果を相乗的に高め、将来的には、新たな環境ビジネスの創出にも繋がるような素地形成を図ります。

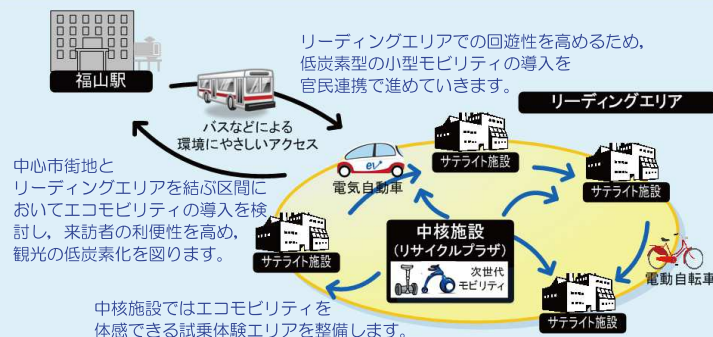
環境観光 のモデル コースを 設定します

特定のテーマで学習シナリオを作成し、それに合致したサテライト施設を抽出して、ストーリー性のある環境観光のモデルコースを設定します。また、サテライト施設やその他の関係者をはじめ、大学生等の意見も取り入れることで、本市の特性を活かしたコースとするとともに、新たな魅力発見にも繋げます。

ストーリー性のある環境観光モデルコースを設定し、優先的に整備を進めていきます。



環境に やさしい エコモビリティ の導入を 進めます



積極的な 情報発信で 来訪者を 増やします

中核施設を窓口とした情報発信を行うとともに、広域観光ルートを設定し、福山市次世代エネルギーパークを素材とした効果的な観光宣伝を行います。

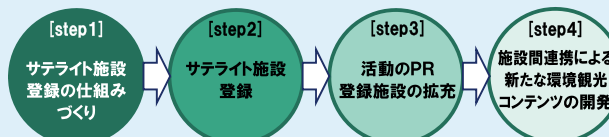
中核施設を窓口とした情報発信や環境観光のPRにより、福山市次世代エネルギーパークへの来訪を促進します。



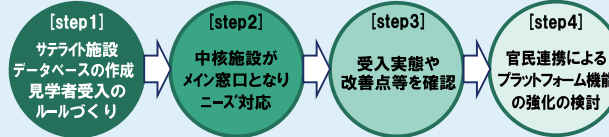
環境観光 受入体制 の整備を 進めます

サテライト施設登録システムの仕組みを整備し、企業による見学者の受入とサテライト施設への登録を促します。
見学内容、受入人数等の情報を一括管理し、見学者の問合せ対応や予約等を行う環境観光プラットフォーム機能を整備します。

サテライト施設の登録の仕組みを整備し、環境観光受入施設を増やすとともに、将来的には新たな観光コンテンツの開発に努めます。



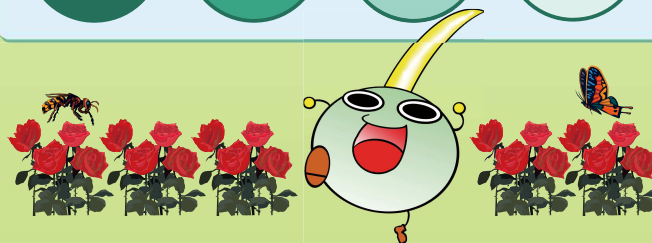
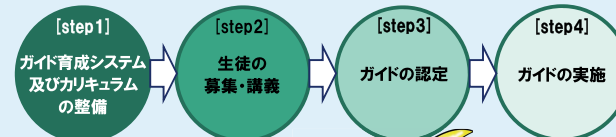
中核施設は、サテライト施設に関する情報を一括管理し問合せや予約に対応するプラットフォーム機能を担います。



学習サポート サービスの 充実を 進めます

福山市次世代エネルギーパークの学習ガイドの育成・認定制度を設け、中核施設を拠点に活動を行います。
大学や企業等と連携することで、環境分野だけでなく福山市の地域特性や文化、企業活動等にも通じ、さらに来訪者と交流できるコミュニケーション力にも長けた人材を育成するための実践的な育成カリキュラムづくりをめざします。

市民や企業OB、学生、観光従事者等を中心に環境学習ガイドの育成を推進し、来訪者の学習サポート体制を充実させます。



福山市次世代エネルギーパークの取組を通じた地域活性化

福山市は、ものづくりのまちとして発展し、オンリーワン・ナンバーワン企業が数多く集積しています。この発展の背景は「エネルギー」「資源循環（リサイクル）」と深くかかわっています。

福山市次世代エネルギーパークは、ものづくりのまちのこうした側面から、市民をはじめとする多くの来訪者が、「低炭素社会（再生可能エネルギー等）」や「循環型社会（資源循環）」、「自然共生社会（生物多様性等）」を体感しながら楽しく学び、家庭や地域において環境に配慮した生活を実践できるよう、人と地域とエネルギーをつなぐ取組を進めます。

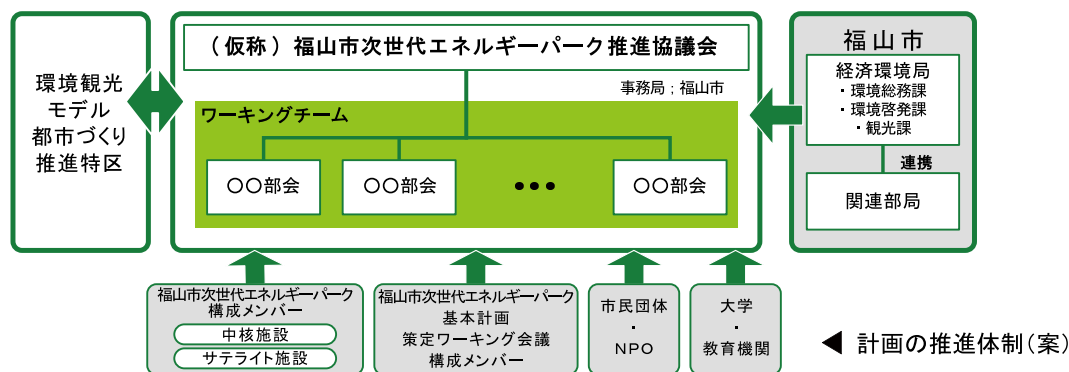
市域に点在する企業等との有機的連携による他にはない特色ある「環境学習」「環境観光」を提供し、再生可能エネルギー等の普及啓発や環境・観光関連産業の振興等を通じて地域活性化及び「クリエイティブなばらのまち福山」をめざす本市の都市ブランド力の向上をめざします。



▲ エネルギーパークを核とする地域活性化のイメージ

福山市次世代エネルギーパーク基本計画の推進に向けて・・・

本計画で掲げる施策・事業を総合的かつ計画的に推進するため、福山市次世代エネルギーパーク構成メンバー及び本計画策定ワーキング会議委員、市民団体・NPO、大学・教育機関等で構成される「（仮称）福山市次世代エネルギーパーク推進協議会」を設置し、進捗状況の確認等を行います。また、協議会の下部組織としてワーキングチームを設置し、協議会メンバーが各々の専門分野に分かれ、施策・事業の実施方法及び連携策について協議・調整を図ることとします。



◀ 計画の推進体制(案)

福山市次世代エネルギーパーク基本計画

2014年（平成26年）3月

福山市 経済環境局 環境部 環境総務課

〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号
TEL (084) 928-1071
FAX (084) 927-7021
HPアドレス <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>
E-mail kankyou-soumu@city.fukuyama.hiroshima.jp

